

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券

時価のあるもの……決算日の市場価格等に基づく時価法によっています。

時価のないもの……移動平均法に基づく原価法によっています。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

無形固定資産

ソフトウェア……見込利用可能期間(5年)に基づく定額法によっています。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
投資有価証券	62,321,142,479	1,544,379,156	7,012,123,447	56,853,398,188
小 計	62,331,142,479	1,544,379,156	7,012,123,447	56,863,398,188
特定資産				
助成事業予備基金	3,693,131,010	234,385,821	466,288,131	3,461,228,700
田口福寿会奨学金準備資金	476,580,000	314,340,000	69,300,000	721,620,000
田口福寿会夢奨学金準備資金	171,000,000	255,000,000	27,000,000	399,000,000
田口育英金準備資金	1,152,000,000	2,970,000,000	360,000,000	3,762,000,000
小 計	5,492,711,010	3,773,725,821	922,588,131	8,343,848,700
合 計	67,823,853,489	5,318,104,977	7,934,711,578	65,207,246,888

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	(10,000,000)	—	—
投資有価証券	56,853,398,188	(56,853,181,586)	(216,602)	—
小 計	56,863,398,188	(56,863,181,586)	(216,602)	—
特定資産				
助成事業予備基金	3,461,228,700	—	(3,461,228,700)	—
田口福寿会奨学金準備資金	721,620,000	—	(721,620,000)	—
田口福寿会夢奨学金準備資金	399,000,000	—	(399,000,000)	—
田口育英金準備資金	3,762,000,000	—	(3,762,000,000)	—
小 計	8,343,848,700	—	(8,343,848,700)	—
合 計	65,207,246,888	(56,863,181,586)	(8,344,065,302)	—

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	2,668,682	1,549,609	1,119,073
合 計	2,668,682	1,549,609	1,119,073

### 5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取配当金	2,555,621,771
基本財産受取利息	2,500
合 計	2,555,624,271

### 6. その他

金融商品の状況に関する事項

#### (1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券、株式、投資信託により資産運用します。  
なお、デリバティブ取引は行わない方針です。

#### (2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式、投資信託であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされています。

#### (3) 金融商品に係るリスク管理体制

##### ①財産管理運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の財産管理運用規程に基づき行います。

##### ②信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告します。

##### ③市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告します。

投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告します。